

交通戦略部会（イメージ）

地域タイプ別の手法の検討

- ◆交通ネットワークの現況等により、地域タイプ別に二次交通整備の手法や具体化の仕組みを検討。
- ◆地域において議論するための企画案（たたき台）を作成。
[メンバー]
観光振興機構、道商連、道経連、旅行業協会、JR北海道、政策投資銀行
（案件により、構成団体ほか関係者を招集）

情報の収集・共有

＜各市町村・観光協会等に照会＞

- 地域タイプ別の手法等の作成に向けて、各市町村に意見照会

＜現況及び今後の見通し＞

- 道路網の整備状況及び今後の見込み
- 鉄道、バス、航空機、フェリーなど交通機関のダイヤ、路線図、料金など
- レンタカーの営業所やサービス等

＜先行事例＞

- 既開業地域等の取組の取りまとめ
例) 都市間バス、周遊バス、無料レンタカー、乗合・定額タクシー、観光リゾート列車

地域での実現に向けた検討・取組（想定）

▼接続利便性①

- 各交通機関によるダイヤ調整や交通情報の一元化
→JR、函館バス、フェリーなどの交通機関、函館市、北斗市

▼接続利便性②

- 観光地や主要都市への高速バスの運行
→函館バス、北都交通、道南バス、中央バスなどのバス会社
函館市、北斗市、目的地の市町村

▼接続利便性③

- 観光地や主要都市への観光列車の運行と三次交通など地元の受入体制の整備
→JR、函館市、北斗市、目的地の市町村、観光協会

▼周遊観光①

- 周遊観光のための共通パスポートや割引制度の創設
→函館市、北斗市、市町村、観光協会

▼周遊観光②

- 周遊観光のためのタクシーやレンタカーの活用
→タクシー事業者、レンタカー事業者、函館市、北斗市
目的地の市町村・観光協会

▼道路ネットワーク等の整備

- 高規格道路など道路整備の促進
早期供用及び事業着手、新設・改良
- 案内標識の新設や改善
- 美しい風景スポットの駐車施設整備 など

＜地元における事業化の検討＞

地元において、実行委員会や協議会などを設立し、事業化に向けた実証実験の実施や支援策などを検討

＜国や関係機関への要請活動＞

事業化に向けた支援、道路ネットワークの整備促進などを要請